

『ボッチャ紹介記事原稿』

「ボッチャ」は障害者のためのスポーツとして考案され、パラリンピックの正式種目です。

近年障害の有無に関わらず、子供から高齢者までの多世代に楽しめるスポーツとして、国並びに県・市町村の普及事業が推進されております。

「宮前ボッチャ倶楽部」は、宮前老人福祉センター主催のボッチャ講習会の受講仲間が友人・知人を誘い合って結成しましたが、宮前区内にはボッチャ正式コ

ートも無く、手持ちのボッチャ用具の備えも無く、苦労が伴う門出となりました。しかしながら、交流仲間づくりで培った「みんな仲良く楽しく&健やかに」の合言葉の基に、「一人で出来ない事を皆でやろう！ 自分に出来る範囲で最善の協力者になろう！」と会員同士の強固の共有認識が醸成されました。

「ボッチャ」はシニア世代の健康と交流仲間づくりに最適なスポーツです。

「宮前ボッチャ倶楽部」では、学校施設開放枠を活用してボッチャ正式コート

3面と用具を常備するに至りました。

これを一般開放し誰もが気楽に参加できるボッチャ普及活動を推進します。

併せて地域高齢者の居場所作りの一環として「ボッチャカフェ」を宮前老人福祉センター内で毎月自主開催します。

近い将来の夢は、宮前スポーツセンターの全体育館を活用しての宮前区ボッチャ競技大会の開催です。

そして、倶楽部員の日頃の実習、スキルアップ効果が、各種競技大会に出場し好成績と意欲向上に連なっております。